

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		荒廃山地の復旧等の治山		事業番号、事業名		4 山地治山		補助・単独別		補助		林務部 森林づくり推進課							
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費	23年度 上段：一般財源 下段：事業費	完了 予定 年度	項目毎の評価 (上段：部 下段：政策評価課)						部意見	政策評価課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
1	上田市	しもいた 下仁田	谷止工1個 谷止工増厚補修2個 沈砂工	3490万円	130万円	H24	A	B	A	A	A	81	A	集落に近接した治山工事施工地であるが、流域に農地を含むことから、豪雨時には土砂を伴った急激な増水がある箇所である。既設構造物を生かした水流の減勢対策を行い、下方集落の保全を図る必要がある。	必要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
					2400万円		A	B	A	A	A	81	A						
2	天龍村	こざわ 小沢	山腹工0.17ha 土留工1個 落石防護柵工11m コンクリート吹付工220㎡ 緑化工1,400㎡ほか	4360万円	130万円	H24	B	A	A	A	B	79	A	平成21年災害による崩落は、JR飯田線が一時運行停止になる大きな影響があった。周辺部においても今後の降雨により拡大崩壊、落石の危険が高く、緊急に対策を図る必要がある。	重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	
					2400万円		B	A	A	A	B	79	A						
3	飯田市	かみしま 上島	山腹工0.10ha 土留工増厚 嵩上2個 水路工100m 伏工1,000㎡ほか	3380万円	183万円	H23	A	B	A	A	B	78	A	集落に近接した治山工事施工地であるが、平成22年7月豪雨の際には山腹斜面内を伏流していた水が噴出し、土砂を流出させた。このため、既設土留工を嵩上げ、増厚するとともに暗渠併設水路を配置し排水機能を増強する等の機能強化対策を行い、再度災害の発生を防止する必要がある。	必要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
					3380万円		A	B	A	A	B	78	A						
4	高森町	えど 江戸ヶ沢	谷止工1個 床固工5個 筋工500m	8620万円	157万円	H24	A	B	A	B	B	78	A	礫類を多量に含む段丘崖の渓流に設置した既設谷止工は、施工後半世紀以上を経ており、経年劣化により決機能が低下しているため、段丘崖の透水性を変化させない透水構造を持つ構造物を再設置し機能強化することで、段丘崖全体の安定を図る必要がある。	必要性が認められる。	○	○	○	
					2900万円		A	B	A	B	B	78	A						
5	木曾町	はしづめ 橋詰	谷止工2個 床固工2個 流路工20m 森林整備10.00ha	9280万円	266万円	H24	B	A	A	A	B	78	A	渓流沿いの森林の荒廃により、今後も渓流の侵食による土砂流出被害が発生するおそれがあるため、森林整備と渓流整備の一体的な施工により渓流の安定を図り、下流集落等を保全する必要がある。	重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	
					4910万円		B	A	A	A	B	78	A						
6	松本市	かのみね 観峯	山腹工0.80ha 落石防止網工 1,800㎡ 落石防止鋼工 1,000㎡	9930万円	183万円	H25	B	A	A	A	B	75	A	県道に近接した治山事業施工地であるが、施工後30年以上経過し、山腹面の風化が進行しており再崩落の恐れが高いことから、落石予防工等の対策工を追加実施し、再度災害の発生を防止する必要がある。	重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	
					3380万円		B	A	A	A	B	75	A						

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号、事業名	4 山地治山			補助・単独別		補助		林務部 森林づくり推進課								
	番号	市町村名		(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費	23年度 上段：一般財源 下段：事業費	完了 予定 年度	項目毎の評価 (上段：部 下段：政策評価課)						部意見	政策評価課意見	現地 調査	申請	採択
必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点	ランク													
7	小海町	ほんま 本間	山腹工0.20ha コンクリート吹付工400㎡ 法枠工800㎡	3490万円	189万円	H23	A	B	A	A	B	74	B	平成22年7月豪雨の際には、崩落した落下した土石が人家まで数メートルの位置まで迫った。今後更に岩塊の剥離、落下の恐れがあり、事業実施の緊急性は高い。	重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
					3490万円		A	B	A	A	B	74	B						
8	天龍村	すご 集合	谷止工3個	1億1570万円	168万5千円		B	A	A	B	B	74	B	平成22年7月豪雨により、溪流内には大量の土石が堆積しており、時期出水木には直下の県道に被害を及ぼす恐れが高いため、対策を行う必要がある。	重要性が高い。	○	○	○	
					3110万円		B	A	A	B	B	74	B						
9	上田市	ふるや 古屋	谷止工1個 山腹工0.05ha 土留工1個 伏工500㎡	3270万円	円		B	A	A	B	B	73	B	溪流左岸は浸食はあるものの、ほぼ基岩に達している。溪流右岸側の堆積地形の浸食・再移動による想定流出土砂量、被害想定範囲の検討・解析を進め、必要な対策工を見極めた上での事業化が必要である。	重要性は認められる。	○			対策工法を含めた全体計画を再検討する。
					円		B	A	A	B	B	73	B						
10	須坂市	が り 電 山	山腹工0.10ha 落石防護柵工20m	1160万円	57万7千円	H23	B	B	A	B	B	66	B	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、事業実施後10年を経過し、山腹斜面の浸食、風化により、新たな落石の危険性が確認されることから、保安林の管理上、追加対策の必要がある。	落石対策の必要性は認められる。	○	○	○	
					1160万円		B	B	A	B	B	66	B						
11	長和町	おおた ざわ 大多沢	山腹工1.00ha 落石固定工6,000㎡	1億3100万円	円		B	C	B	B	B	57	B	落石への対応の必要性は認められるが、被害想定範囲の確定と、対策工の工種及び施工範囲などの検討、また地域との合意形成を深めた上での事業化が必要である。	重要性がやや低い。	○			全体計画を再検討する。
					円		B	C	B	B	B	57	B						
合		計		11箇所	7億1650万円	1464万2千円	A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満												
					2億7130万円														

* 県単独事業の場合は申請の欄を削除して使用する。

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号、事業名	4 山地治山(林地荒廃防止)			補助・単独別		補助		林務部 森林づくり推進課									
	番号	市町村名		(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費	23年度 上段：一般財源 下段：事業費	完了 予定 年度	項目毎の評価 (上段：部 下段：政策評価課)						部意見	政策評価課意見	現地 調査	申請	採択	備考
								必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点	ランク						
1	飯田市	ほうぜんじ 法全寺	山腹工0.20ha 暗渠工(ホーリング) 300m 実播工400㎡	2580万円	82万6千円	H24	B	A	A	A	A	81	A	河川に面した山腹斜面の地すべり性崩壊であり、移動土塊が河川を閉塞した場合、下流集落への重大な被害が想定されるため、河川管理者との連携により対応する必要性、緊急性が高い箇所である。	重要性、緊急性が認められる。	○	○	○		
					1530万円		B	A	A	A	A	81	A							
2	上田市	たなか 田中	床固工1個 護岸工35m 山腹工0.30ha 土留工3個 実播工700㎡ 伏工1,200㎡ほか	6960万円	94万6千円	H24	A	A	A	B	A	80	A	平成22年8月豪雨により発生した溪流沿いの山腹崩壊地は集落に近接しており、今後の降雨により拡大し、重大な被害発生のおそれがあるため、早急に対策を実施する必要がある。	重要性が高く、必要性も認められる。	○	○	○		
					1750万円		A	A	A	B	A	80	A							
3	大町市	しおい 塩ノ入	山腹工0.20ha 土留工2個 水路工94m 実播工400㎡ほか	2950万円	160万円	H23	B	A	A	A	B	78	A	地すべり性の地形・地質条件である山腹崩壊地であり、今後の降雨により山腹内に堆積している土砂流出のおそれがあり、また周辺斜面への拡大崩壊の恐れもあることから、早急に対策を実施する必要がある。	重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○		
					2950万円		B	A	A	A	B	78	A							
4	飯田市	さるくら 猿庫	谷止工2個 山腹工0.08ha 実播工500㎡ほか	3710万円	118万円	H24	B	B	A	A	A	76	A	多くの来訪者が訪れる「猿庫の泉」上流の山腹が崩壊し、溪流内には不安定土砂が堆積しており、次期出水期に被害を及ぼすおそれがあるため緊急性は高い。水質、水量の保全に対して再現の配慮をしつつ、事業を実施する必要がある。	緊急性が認められる。	○	○	○		
					2180万円		B	B	A	A	A	76	A							
5	上田市	おもて 表	谷止工2個	4360万円	118万円	H24	A	A	A	C	A	75	A	平22年8月豪雨により下方保全対象に土砂が流出した箇所であり、溪流沿いの浸食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	重要性が高く、必要性も認められる。	○	○	○		
					2180万円		A	A	A	C	A	75	A							
6	豊丘村	ふくしま 福島	谷止工2個 山腹工0.10ha 土留工2個 水路工20m 伏工100㎡ほか	6810万円	189万円	H24	B	A	A	A	A	75	A	地域生活にとって重要な村道上部の地すべり性崩壊であり、溪流内に堆積した不安定土砂が次期出水期に村道へ流出する恐れが高く、早期に対策工を実施する必要がある。	重要性、緊急性が認められる。	○	○	○		
					3490万円		B	A	A	A	A	75	A							

分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号、事業名	4 山地治山(林地荒廃防止)			補助・単独別	補助		林務部 森林づくり推進課										
	番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費	23年度 上段：一般財源 下段：事業費	完了 予定 年度	項目毎の評価 (上段：部 下段：政策評価課)						部意見	政策評価課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
								必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点	ランク						
7	池田町	ほうどう 法道	谷止工1個 山腹工0.07ha 水路工43m 暗渠工53m 伏工700㎡ほか	2730万円	148万円	H23	B	A	A	A	B	74	B	既設治山事業施行地に隣接する山腹で発生した山腹崩壊及び下方溪流への土砂流出であり、今後の降雨により直下の県道に被害が及ぶ恐れが高いことから、早急に対策を実施する必要がある。	重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○		
					2730万円		B	A	A	A	B	74	B							
8	上田市	おおくぼ 大久保	谷止工1個 山腹工0.02ha 土留工1個 筋工・伏工ほか	3270万円	円		B	A	A	B	B	69	B	山腹崩壊地の復旧及び溪流への対策工の必要性はあるものの、拡大崩壊の危険瀬は比較的低い。高速道路用地に跨る荒廃箇所であり、道路管理者との調整を進め、計画熟度を深めたうえで事業実施が必要である	重要性は認められる。	○			関係機関との調整を含め全体計画を再検討する。	
					円		B	A	A	B	B	69	B							
合 計		8箇所		3億790万円	910万2千円		A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満													
				1億6810万円																

* 県単独事業の場合は申請の欄を削除して使用する。